

平成28年度 知事室長 運営目標								
運営目標					達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
1	WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーなどとWEBチームを構成し、効果的戦略や魅力あるコンテンツにより、ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）を強力な情報発信力のあるものに再構築します。							
達成手段 (数値目標)	①	WEB媒体に関する外部専門家を選定、そのアドバイスのもと、戦略策定・展開・効果測定・再展開のサイクルでSNS媒体の発信力の強化を図ります。 ・WEBの専門的知識や実践経験を有する専門家のアドバイスのもと、戦略策定・展開・効果測定・再展開のサイクルで発信力を強化				△	○	・専門家も交えた検討を平成28年4月から毎週実施。戦略性を持った発信のためのSNS及びWEBサイトの仕組みを構築
	②	WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーなどとWEBチームを構成し、事業部局、市町村、メディアなどとの連携・協働により、京都に関するコンテンツの充実を図ります。 ・WEB媒体に関する外部専門家や地域情報を有するパートナーの参画を得てWEBチームを構成 ・WEB媒体、特にfacebookページについて、京都の最新の情報を得る強力な媒体となるよう、WEBチームにより魅力的なコンテンツを発信 ＜Facebookページのいいね！ 25万人（㊿14,805人）＞					△	・戦略性を持った発信のためのSNS及びWEBサイトの仕組みを構築するため、専門家も交えた検討を実施 ・Facebookページのいいね！ 20,408人(8.2%) 【未達成の要因・理由】 システムの試行運用の開始が平成29年1月と遅れ、発信力のあるコンテンツや仕組みの構築が不十分であったため
2	新たな友好提携を行うとともに、「京都国際交流おもてなし大使」の任命により、府民の方々とともに交流の枠組みを作り、友好提携州省等海外との交流を積極的に進めます。							
達成手段 (数値目標)	①	海外への文化発信に積極的な府民を「京都国際交流おもてなし大使」に任命し、府とともに交流事業に取り組んでいただける枠組みを整備します。 ・多くの府民の方に交流活動に参加していただき、交流活動の充実を図るとともに、府民の国際理解を推進				◎	◎	・「京都府国際交流大使」制度創設、2名の大使を任命
	②	カナダ・ケベック州との間で、京都府として7番目となる友好提携を締結し、同州と人的交流や学術交流を実施するとともに、新たな交流提携に向けて、ターゲットとなる国・地域を調査します。 ・カナダ・ケベック州との間で、モデルフォレスト交流やスマートシティの推進等に関する協力、大学や高校間の提携等を推進し、交流のネットワークを拡大 ・新たな交流提携に向けて、ターゲットとなる国・地域を調査					◎	・平成28年5月に京都府訪問団がケベック州を訪問し、友好提携を締結 ・有識者へのヒアリング等を通じ検討を進めたほか、タイ・チェンマイ県、アメリカ・マサチューセッツ州など新たな地域との交流も推進
	③	平成27年度に友好提携したフランス共和国ラングドック・ルシヨン州が隣接するミディ・ピレネー州と合併したことを踏まえ、同州との人的交流や経済・観光交流をさらに推進します。 ・同州から訪問団を受け入れ、新たな協定を締結 ・友好提携の府民広報を行うため、民間団体と連携したPR事業を実施 ・フランスとの交流内容を更に拡充し、人的交流や経済・観光交流を更に活発化					◎	・平成28年12月、オクシタニ州議長を団長とする訪問団を受入、改めて友好提携を締結 ・オクシタニ州の大学(11校)と府内大学(6校)との交流を通じた友好提携の広がり ・京都大学とフランスの農業研究機関との農学研究交流
	④	中国交流人材を活用した陝西省その他中国との交流を再構築します。 ・府と陝西省における新たな交流事業の策定(陝西省が抱える環境問題解決に向けた事業策定、京都への留学生招致) ・中国との交流事業における市町村支援・連携(宇治市-陝西省咸陽(30周年)、亀岡市-江蘇省蘇州(20周年)、京丹後市-安徽省亳州(10周年))					◎	・中国陝西省からの研修生とともに、留学生誘致や青少年交流等を推進 ・宇治市-咸陽市の交流事業に研修生を派遣し、交流を支援
	⑤	京都府の友好提携州省をさらに良く知っていただくため、府の国際交流活動への府民の理解と参画を進めます。 ・府民にPRするイベント、「京都国際交流おもてなし大使」任命式等を通じ、友好提携6州省等との交流に対する理解・参画を促進					◎	・新規に作成したパネルやパンフレットを活用して、イベント等での友好交流をPR ・毎週、ホームページやSNSにより国際交流について情報発信し、広くPR

平成28年度 知事室長 運営目標					
運営目標				達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
3	友好提携州省との関係を活かした留学生誘致の仕組みを構築するなど、海外からの留学生を積極的に受け入れ、地域の国際化・活性化に活かすため、オール京都で留学生を誘致・支援します。				
達成手段 (数値目標)	①	(1) 留学生スタディ京都ネットワークを中心に、オール京都で留学生の誘致から就職までを総合的に支援します。 ＜府内の留学生数: 8,700人(㉔7,238人)＞ ＜京都企業に就職した留学生数: 280人(㉔377人)＞ ・京都単独の留学フェア(学校説明会)を海外3ヶ所で開催。(㉔1ヶ所) ・友好提携州省を留学生誘致の重点国・地域に定め、効果的なアプローチ方法を検討・具体化 ・京都留学の魅力を伝え、海外の学生に京都留学を決めてもらえるガイドブックを作成 ・主に渡日前及び来日間もない留学生に対して、多言語で京都の賃貸住宅情報を提供する京都の住宅情報サイトを創設し、住居探しの不安を解消 ・京都の中堅・中小企業でインターンシップを行い、留学生と企業との相互理解を深めることで、留学生の雇用と就職後の定着を促進 ＜インターンシップ参加学生数: 30名、参加企業数: 20社(㉔新規)＞ (2) 府の遊休資産を活用し、留学生宿舎の整備など大学との連携・共同事業を実施します。 (3) 友好提携州省における京都留学情報の発信や学校説明会の開催、パートナーとなり得る大学等との関係を構築します。		○	(1) オール京都による留学生総合支援 (○) 28年5月現在の府内留学生数: 8,011人(92%) 27年京都企業に就職した留学生数: 385人(138%) ・京都単独の留学フェア: 3箇所で開催 (中国陝西省、台湾台北、タイ/バンコク) ・東アジア(中国、韓国、台湾、香港)、東南アジア(タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア)、欧米(米国)を重点市場、インド、オーストラリア、欧州を要調査市場として設定し、大学(院を含む)・専門学校の正規生、日本語学校学生(長期コース)の受入拡大を目指す ・留学生ガイドブック「STUDY KYOTO」: 10月に完成 ・留学生のための多言語賃貸住宅情報サイト「Kyoto Housing Search for International Students」: 29年1月に開設 ・インターンシップ: 実施(22名(73%) 15社(75%)) 【未達成の要因・理由】 受入企業の開拓は順調に推進できたが、留学生と企業のマッチングの段階で成立に達しなかったものがあつたため (2) 関係機関と引き続き調整中(最終調整段階) (○) (3) 陝西省で学校説明会(10月)を開催 (◎) オクシタニ州関係者が来訪され、府内大学と意見交換を実施(12月)

平成28年度 知事室長 運営目標						
運営目標				達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
4	連携・協働の力による情報発信を進め、広報媒体のブラッシュアップと合わせて、事業の成果や地域情報を強力に発信します。					
達成手段 (数値目標)	①	広報センターの外部専門家やPR専門会社とともに、メディアへの売り込みや企業タイアップにより情報発信を強化します。 ・テレビ、雑誌編集者などメディアとの関係を強化し、露出をアップ ・新たな施策や府民サービスの周知とともに、事業の成果の発信の観点も踏まえ、府のパブリシティを充実（成果広報の強化）		○	◎	・メディアリレーションによる露出 146件 ・府からのプレスリリース掲載率 42.7% (㊦42.3%)
	②	市町村や地域メディア（コミュニティ・FM、ローカル紙、ケーブルテレビ等）と連携した情報発信等を強化します。 ・地域情報「ファクトブックシステム」の充実とメディアでの活用による地域情報の拡散を強化 ・広報協議会における研修の充実と市町村広報相談の実施 ・京都府からのプレスリリースを提供し、地域メディアからの情報発信を強化 ・府政情報に係る広報企画を募集し、細やかな府政情報発信を実施<20企画（㊦13企画）> ・地域メディアの活動を府ホームページ、SNSで紹介して情報発信			◎	・地域情報「ファクトブックシステム」の入力研修を12市町村へ出向き実施。各市町村のコンテンツ 381件を入力済 ・府職員及び市町村職員に対する研修を5回実施 ・随時プレスリリースを提供し、地域メディアからの多くの取材につなげた ・地域メディアからの広報企画 21企画(105%) (うち3企画は合同企画) ・府政記者クラブへの情報提供を通じ、地域メディアの活動を情報発信
	③	府民日より、テレビ・ラジオ、ホームページ、まゆまるなどの広報自主媒体・発信ツールをブラッシュアップし、事業の成果や地域情報を強力に発信します。 ・広報自主媒体をブラッシュアップし、事業の成果や地域情報を強力に発信 ・まゆまるを歌とダンスで強力なキャラクターへブラッシュアップし、京都府事業、市町村との共催イベント等への出演のほか、府外へ飛び出し京都府を強力に発信するとともに、まゆまるSNSで出演イベントの告知、イベントの参加状況を発信し、新たなファンを獲得 <まゆまるに関し、Twitterのフォロワーを4万人（㊦29,143人）、Facebookのいいね！を2万人（㊦7,979人）、LINEの友だちを3万人（㊦15,714人）>			△	・府民だよりのデザイン、構成のクオリティをアップ、紙面の読みやすさを改善し媒体の発信力を強化 ・まゆまる Twitter フォロワー 30,131人(75.3%) Facebook いいね！ 10,266人(51.3%) LINE 友だち 16,486人(55.0%) 【未達成の要因・理由】 まゆまるのステージにおける活動に注力し、SNSなどの効果的な発信が不十分であったため
5	災害からの安全な京都づくりを目指し、関係部局等と連携し、府民の防災意識の高揚を図るための広報・啓発を強化するとともに、災害時等の情報提供を確実かつ迅速に行います。					
達成手段 (数値目標)	①	府ホームページやSNS等を活用し、災害時の情報提供を確実かつ迅速に実施します。 ・夜間、休日時における府ホームページの情報更新体制を強化 ・SNS（ツイッター）を利用して、気象に関する警報等の情報を確実に発信		◎	◎	・トークンの導入などにより夜間、休日時における府ホームページの情報更新体制を強化 ・ツイッターによる発信【4～9月】 気象警報情報 92回 避難勧告等情報 36回 土砂災害警戒情報 22回 食中毒・光化学スモッグ注意報、交通死亡事故多発警報情報等 34回 など
	②	災害に対する知識や備えについて、府民日よりや府ホームページ、ラジオ等を通じて広報・啓発します。			◎	出水期をはじめとする災害が比較的多く発生する時期において、災害に対する知識や備えになるような啓発を各媒体で情報発信
	③	大規模災害を想定した実践的な訓練を実施します。 ・ホームページの簡易版への切り替え、協定締結報道機関への放送要請等の実施 <2回（㊦2回）>			◎	報道機関と共同した訓練、広報課内での実践的な訓練を9月4日(日)の府総合防災訓練及び3月9日(木)の府地震災害等対応訓練に合わせて実施 2回(100%)

平成28年度 知事室長 運営目標				
運営目標			達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
6	「知事と和い和いミーティング」の開催を通じ、地域創生に取り組む府民の活動を応援します。			
達成手段 (数値目標)	①	地域創生戦略に位置付けられた施策や事業に関わる府民、団体、NPOなどの皆さまとの交流や意見交換を通じ、「知事と和い和いミーティング」を地域創生の取組の応援や施策へのフィードバックの場として展開します。 ＜参加した人の満足度 90% (㉗82.4%)＞	△	満足度 80.0%(72%) 【未達成の要因・理由】 緊張して思ったことがうまく話せなかった(参加者)
7	多文化共生や国際交流の推進など、(公財)京都府国際センターを核として府内市町村等と連携・協働して、地域の国際化を進めます。			
達成手段 (数値目標)	①	外国籍府民が地域で安心して不自由なく暮らせる取り組みをさらに推進します。 ・市町村国際化協会等で実施している日本語学習支援や生活相談などに対し、円滑に運営できるよう情報共有や支援を図ります。 ・外国籍府民が参加する防災研修・防災訓練を始め、地域で暮らす外国人の日常生活支援の役割を担うボランティア等を支援する取組を府内市町村や市町村国際化協会と連携して実施するなど、安心・安全を支える取り組みを進めます。 ・来日間もない留学生や過疎地域に定住する外国籍府民等にも、十分な日本語教育が確保されるよう、スカイプ等を活用した日本語学習支援の検討を行い、利用しやすいカリキュラムを策定します。	○	◎ 京都府国際センターにおいて下記のとおり実施 ・モデル日本語教室を開催(春期、秋期、冬期)、日本語支援ボランティア養成講座・研修会実施 ・府内日本語教室ネットワーク構築のためのネットワーク会議を開催し、市町村等との情報共有及び取組支援を実施 ・京都府総合防災訓練に参加(9月4日(日))、その他市町村と連携して訓練実施 ・災害時外国人支援ワーキング会議を開催し、市町村等との情報共有及び取組支援を実施 ・スカイプ等WEB通信システムを利用したトライアルレッスン実施、カリキュラム等を作成
	②	府民の国際化への理解を進めるとともに、留学生を対象に地域とのふれあい交流を通じて京都への理解を深め、定着等を促進する事業を実施します。 ・留学生に関する体育、文化及び音楽に関するイベントを府の3大留学生交流支援事業として位置付け、関係団体と連携して事業に取り組みます。		◎ 京都留学生体育祭:11月26日(土) 参加者約300名 留学生音楽祭:12月10日(土) 参加者約100名 京都クッキングワールドカップ:12月10日(土) 参加者約70名
	③	府内の国際交流等を推進するため、府全域での大使活動を活発化します。特に府の振興局事業等への協力や、市町村トライアル事業の利用が少ない府北・中部や南部の利用を促進するとともに、帰国した名誉友好大使については、京都と京都人を結ぶグローバルネットワーク「京都倶楽部」の活動に対する協力を促します。 ＜北・中部30事業、南部30事業、京都市内95事業(㉗実績 北・中部27事業、南部27事業、京都市内85事業、海外5事業)＞		△ ・北・中部:16事業(53%) ・南部:29事業(97%)、 ・京都市内:78事業(82%) ・海外:5事業(計128事業) うち市町村トライアル派遣事業:14市町村13事業 【未達成の要因・理由】 ・トライアル派遣(京都府費用負担)については、昨年度(12市町10事業)より、28年度の利用数が増加しているが、全体の利用数は減少 ・大使の利用にあたっては、謝金・旅費等の費用負担が必要となることも原因と考えられる
	④	京都府の友好提携先等との交流を活発化させるため、サポーター(個人)や団体を組織化し、各種交流事業を協働で実施します。[再掲]		◎ ・「京都府国際交流大使」制度創設、2名の大使を任命

目標達成状況(達成区分)	件数	割合
目標達成「◎」(小項目のすべてが◎)	2	29%
概ね達成「○」(小項目の◎○が2/3以上)	3	43%
未達成「△」(小項目の◎○が2/3未満)	2	29%
計(運営目標数)	7	

【小項目の達成区分】
「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
「○」…概ね達成(達成率90%～100%未満)
「△」…未達成(達成率90%未満)